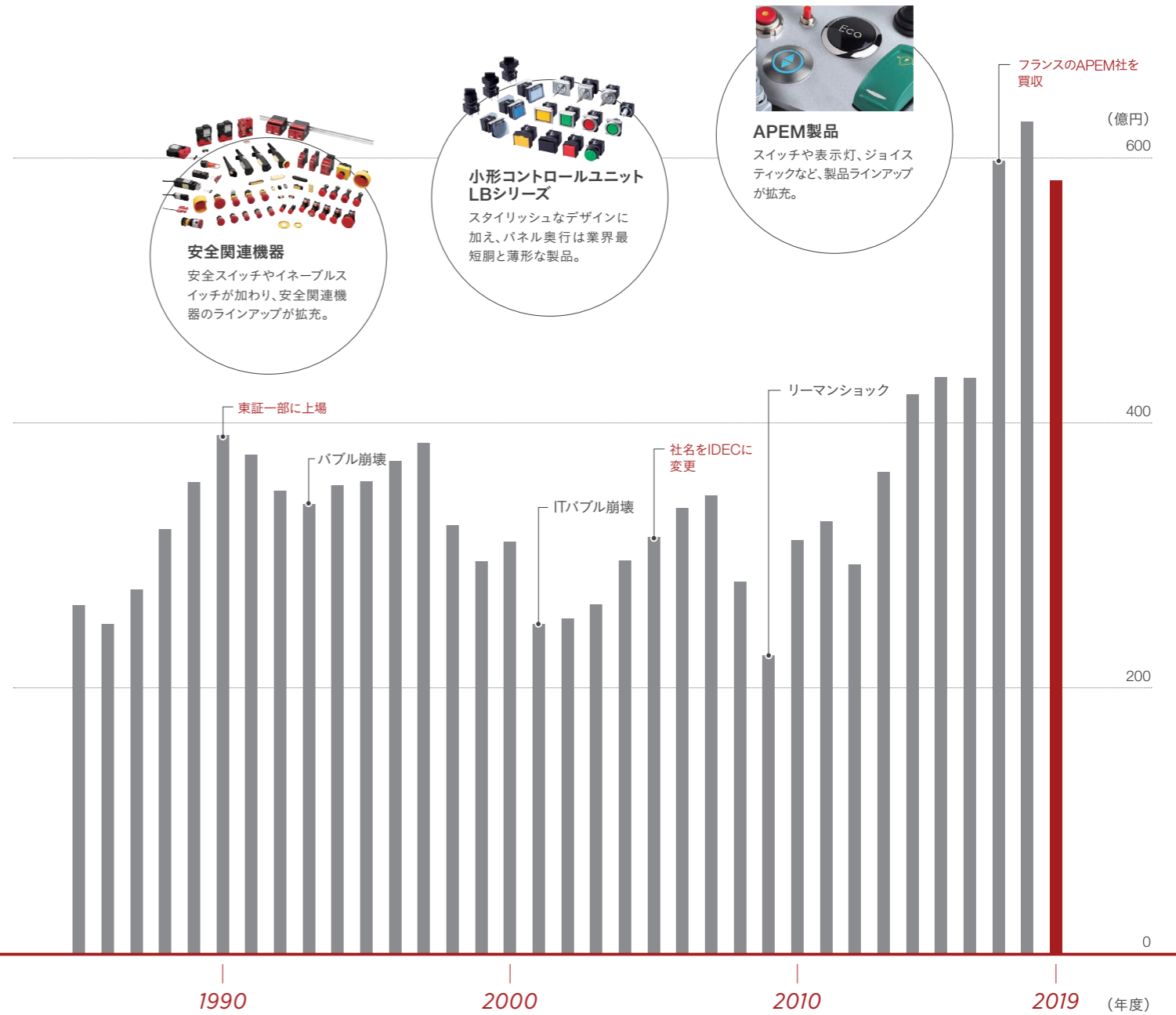
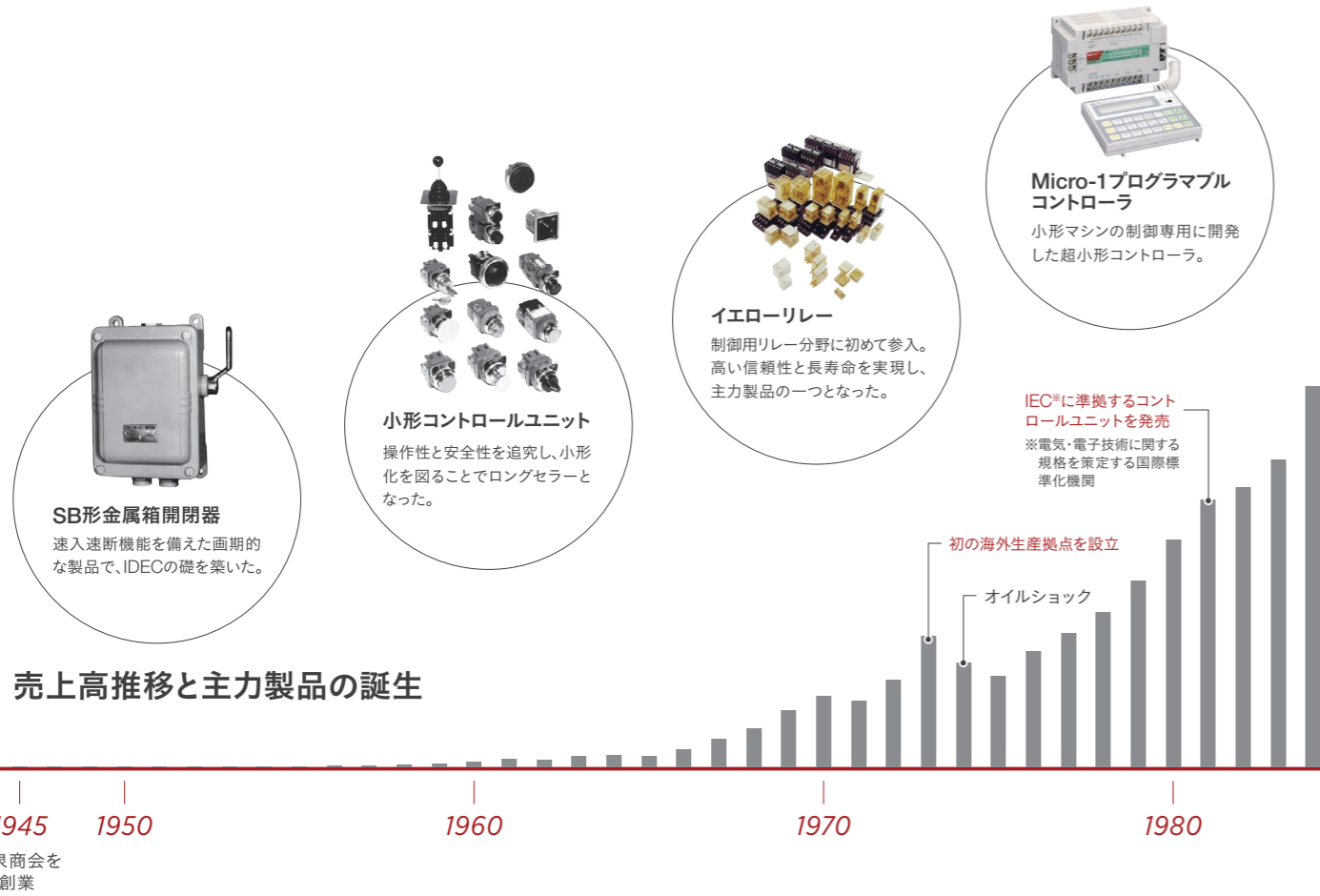


IDECグループの歴史

100周年、さらにその先の未来に向けて グローバルな社会課題の解決に 挑戦していきます。



戦後復興の
ものづくりを支える

IDECは、1945年に「和泉商会」として創業しました。創業当初は電気器具の小売、販売を行っていましたが、当時機械設備などに欠かせない各種開閉器が不足していたことに着目し、高品質の開閉器を開発。産業界から高い評価を受け、ロングセラー製品となり、繊維・化学工場、石油コンビナートなどで活躍する防爆機器とともに、戦後復興のものづくりを支えました。

制御機器の総合メーカーとして
自動化・機械化に貢献

高度経済成長にともなう計測・制御技術需要の高まりを受けて、制御機器の総合メーカーへと転換。工場設備の自動化・機械化の進展により、電子・システム製品分野にも進出しました。また1970年以降、企業規模の拡大と量産化に対応するため、海外に生産・販売拠点を設立しました。グローバルビジネスの展開を積極的に推進することで、業績も拡大を続け、1990年には東証一部に上場を果たしました。

「人と機械の最適環境」を創造

1990年以降、ものづくりの現場は、人と機械が共存する環境が主流となってきました。安全性や生産性に配慮した機械・設備のニーズに応える製品として、国内初の安全スイッチやイネーブルスイッチなどの製品開発を進めました。2000年には、主力工場である滝野事業所に、多品種変量生産を実現するロボット制御セル生産システムを導入し、製造現場の自動化・省力化を推進しました。

グローバルな
社会課題の解決に挑戦

創業60周年を迎えた2005年、「IDEC」へと社名を変更しました。2017年にはフランスのAPEM社を買収し、グローバルビジネスの拡大を進めるとともに、社会課題の解決に貢献する新規事業にも取り組んでいます。2019年には、新たな経営理念として『The IDEC Way』を制定しました。IDECグループが真のグローバル企業となるための変革と挑戦を続けることで、持続的な成長を実現していきます。